

児童発達支援事業【保護者からの】事業所評価 集計結果(公表) 2024.3.1

事業所名 児童発達支援事業 つみき第2

利用者 49名 回答者 28名 回答率57%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	【1】子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28				・広々としたスペースで活動ができています。	限られたスペースを広く使えるよう、物の配置を工夫していきます。
	【2】職員の配置数や専門性は適切であるか	26			2	・全体を把握していないのでわからない。 ・施設内の配置については不明のため。 ・詳しくはこちらの勉強不足のため、わからないところがある。	東京都の配置基準を満たしています。
	【3】生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	1		1	・玄関入り口が階段。車いすを使用する利用者の方は不便かもしれない。	
	【4】生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28					
適切な支援の提供	【5】子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28				・きちんと面談があり、すり合わせをさせていただいている。	今後とも子ども一人ひとりの課題に沿った支援計画書となるよう、定期的な見直しを行っていきます。
	【6】児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28				発達段階に応じた具体的な支援が提供されている。	
	【7】児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28					
	【8】活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	26	2			いつも色々なプログラムが生まれ、子どもにとってよい刺激を得られている。	活動プログラムについては、一人ひとりの支援計画を踏まえ、固定化しないよう取り組んでまいります。
	【9】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	4	1	12		公園や児童館等に関わる機会があります。ニーズの把握を行い、上記以外の機械の設定を検討していきます。
保護者への説明等	【10】運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28					利用契約時に説明をしています。ご不明な点等があれば、その都度ご説明させていただきます。
	【11】児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	28					

児童発達支援事業【保護者からの】事業所評価 集計結果(公表) 2024.3.1

	【12】保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	26			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学後の支援についての勉強会がとてもよかった。</li> <li>・定期的に行ってくださいととてもありがたいです。</li> <li>・不定期ではあるが、毎回興味のある題材のペアトレを行っていただいている。今後も継続していただきたい。</li> </ul>	嬉しいお言葉をありがとうございます。より内容が充実するよう、一層努めてまいります。「こんなこと聞きたい」等、ご要望がありましたら職員までお伝えください。
	【13】日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28					
	【14】定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28				<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談もできるようになるとありがたいです。</li> </ul>	
	【15】父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	3	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングで他の保護者と顔を合わせるが、話す時間はなく、同学年の子を持つ保護者との交流はない。</li> <li>・保護者会の参加や保護者同士の関わりはあまりない。</li> <li>・送迎付きなこともあり、他の父母と会う機会は少ないと感じる。</li> </ul>	ペアレントトレーニングやつみきコンサート、秋祭り、活動参観等で保護者同士の顔を合わせる機会がありました。次年度は保護者会の開催を予定しております。
	【16】子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27			1		
	【17】子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28					
	【18】定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26			2	年間を通して季節のイベントが多く実施されており多くの経験が来ている。	
	【19】個人情報に十分注意しているか	28					
非常時の対応	【20】緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	2		3		各種マニュアルは策定しておりますが、周知が不十分だと認識しております。対応策を検討してまいります。
	【21】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	2		4		毎月1回、様々なシチュエーションを想定し避難訓練を実施しています。

児童発達支援事業【保護者からの】事業所評価 集計結果(公表) 2024.3.1

満足度	【22】子どもは通所を楽しみにしているか	27	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫されたプログラムで先生方も優しく、いろいろ試行錯誤しながら対応して下さるので、子供も親も安心できる。</li> <li>・つみきで自信をつけて、保育園でも頑張っている気がする。</li> <li>・つみきの日は前日から楽しみにしており、当日もニコニコの笑顔で帰ってきます。</li> <li>・とても楽しんでいる様です。</li> <li>・幼稚園よりも楽しみにしています。</li> <li>・バスに乗る時から楽しそうな表情をしています。</li> <li>・いつもニコニコ嬉しそうに通っています。</li> <li>・苦手なこともあるため、楽しみとは行かない所もあるが、いつも笑顔で帰ってくる。</li> </ul>	<p>このようなお言葉をいただくことで、職員の意欲にも繋がっています。引き続き、1人ずつに寄り添い丁寧な支援を心がけていきます。</p> <p>お子さんの安心できる場となるよう、努力してまいります。</p>
	【23】事業所の支援に満足しているか	28			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけでなく、親もとても（特にメンタル面）支えられている。ありがとうございます。</li> <li>・本当に感謝の気持ちでいっぱいです！！</li> <li>・面談等でも関わり方等とても細かく丁寧に説明して頂き、家での接し方等プラスの変化が沢山あります。</li> <li>・大変満足しています。</li> <li>・熱心な取り組みがされていると思います。</li> <li>・工作が好きではないが、つみきで作ってきているのを見て安心します。トイトレもつみきでは成功しているようで大変ありがたいです。</li> <li>・いつもありがとうございます！</li> </ul>	<p>ありがたいお言葉を頂きましてありがとうございます。今回いただきましたご意見を踏まえ、支援の充実に一層努めてまいります。</p>

# 児童発達支援事業【事業所における】自己評価結果(公表)

事業所名 児童発達支援事業 つみき第2

2024.3.1

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	【1】 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースを広く使えるよう、物の配置を工夫しています。	
	【2】 職員の配置数は適切である	○		東京都の配置基準を満たしています。	利用児の様子や活動内容によって、人手が必要な場合は、柔軟な応援体制を組んで対応していきます。
	【3】 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。		○	1F活動室の手洗い場が高いため、段を付けて利用しています。	建物の構造上入口が階段のため、スロープを購入しました。必要に応じて活用していきます。
	【4】 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		清掃・消毒については、職員が感染症対策も含めて毎日こまめに行っています。	
業務改善	【5】 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○		朝礼・終礼の際に、職員全体で検討・共有しています。	
	【6】 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている。	○			保護者会をやってほしいという声が上がりました。次年度より実施できるように調整していきます。
	【7】 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		毎年ホームページにて公表を行っています。	
	【8】 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務内容に繋げている。		○		現在、実施していません。今後検討していきます。
	【9】 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		定期的に研修の機会を設けています。	今後も職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	【10】 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		職員がチームとなり、アセスメントを行った上で、支援計画書の作成を行っています。	
	【11】 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。		○	独自のアセスメントツールを使用しました。	
	【12】 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	【13】 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	【14】 活動プログラムの立案をチームで行っている。	○			

## 児童発達支援事業【事業所における】自己評価結果(公表)

	【15】活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	○		マンネリ化しないように、適宜内容の見直しを行っています。	
	【16】子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	【17】支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日必ず朝の打ち合わせをしています。 活動内容、支援内容、役割分担を確認しています。	
	【18】支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日必ず活動後の打ち合わせをしています。 振り返りや気付いた点を共有し、記録に残しています。	
	【19】日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌や個別支援記録を作成しています。	
	【20】定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回の定期的な個別面談や適宜相談に応じるなどして、ニーズの把握に努めています。	
関係機関や保護者との連携	【21】障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議が開かれる機会がありませんでした。	サービス担当者会議が開かれる際には、最もふさわしい職員が参加します。
	【22】母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	【23】(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	【24】(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医と直接に連絡を取ることではないものの、『主治医指示書』でやり取りをしています。	
	【25】移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、関係機関へ連絡し、情報の共有を行っています。	
	【26】移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		特別支援学校の教諭が就学前に訪問することもあります。	
	【27】他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		公開講座に参加しています。	今後も積極的に研修や講座を受講していきます。
	【28】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公園や児童館へ出向き、障害のない子どもと関わる機会を作っています。	
	【29】(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		各種会議に法人代表者が参加しています。	
	【30】日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	【31】保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今年度は3回実施しました。	より内容が充実するよう、一層努めてまいります。

## 児童発達支援事業【事業所における】自己評価結果(公表)

保護者への説明責任等	【32】運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	契約時は書類が多いので、より丁寧な分かりやすい説明を心がけていきます。
	【33】児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	【34】定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	【35】父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ペアレントトレーニングや秋祭り、活動参観、つききコンサート等の行事を企画し、保護者同士が顔を合わせる機会を作りました。	次年度は保護者会の実施を検討しています。
	【36】子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速に対応している	○			
	【37】定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月だよりで活動内容、行事予定等発行しています。	
	【38】個人情報の取扱いに十分注意している。	○			
	【39】障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者とは連絡帳やLINEを活用しています。	
	【40】事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		秋祭りに地域の方を招きました。	次年度も継続して地域の方との交流の場にしたいたいと思っています。
非常時等の対応	【41】緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは策定されています。	マニュアルはあるものの周知については改善が必要なため、会議や研修を通して職員間の周知に努めます。また、ホームページに掲載する等、法人に提案していきます。
	【42】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回避難訓練を実施しています。	
	【43】事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	【44】食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	【45】ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		年に一度法人内のヒヤリハットを集計し、研修を行っています。	今後も、ヒヤリハット事例集を作成していきます。
	【46】虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修を行っています。	チェックリストを活用し、意識レベルを上げていきます。
	【47】どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		危険防止の為にやむを得ず行う可能性があることは個別支援計画書に記載・説明し保護者の了解を得ています。	